

# なごみなの里地域福祉サービスセンター

## 養護老人ホーム 偕楽園

### 1 基本方針

利用者一人ひとりの権利を尊重し、心身ともに健康で活力にあふれた生活を目指し、利用者の皆さんが自身でできることは、自身で行うことを基本に支援します。

さらに、自主施設運営として責任を持った経営を基本とし、経営分析や必要な検証・改善を行い業務の効率化・経営の安定化を図ります。

### 2 重点項目

- (1) 利用者の多様化に応じた支援の提供
- (2) 安定経営のための利用率の向上

### 3 数値目標

内 容		目標等
(1) 養護老人ホーム	80人× <u>366</u> 日×93.8%	延べ <u>27,464</u> 人
(2) 生活管理指導短期宿泊事業	2人× <u>366</u> 日×100%	延べ <u>732</u> 人

### 4 施設運営

#### (1) 利用者への支援

内 容	実施時期・回数等
イ 倫理綱領，具体的行動計画の周知と実践	
（イ）倫理綱領・具体的行動計画に基づく統一した支援	通年
（ロ）虐待防止対応マニュアルに基づく職員のセルフチェック	年2回
ロ 利用者一人一人の状態に応じた個別支援計画に基づく支援の実践	
（イ）計画作成及びモニタリング，再アセスメントの実施	9月，3月
a 生活場面に応じた課題を含む多様なニーズをケア会議での検討	随時
b 利用者の希望の尊重と作成の同意	〃
c 個別目標のサービス提供の実践	通年
d 個別支援計画の見直しとケアの改善	随時
e 利用者のADLの状態変化に応じた計画変更（ケア検討会議等）	〃
f 計画実施記録の整理	通年
g サービス担当者会議	随時
（ロ）個別契約による介護サービスの提供	
a 居宅介護事業所（ケアマネ）等と連携し適切な介護サービスの提供	利用者20人
b 訪問介護（身体介護（排泄，入浴等）・生活援助（居室の清掃，整理））	6人
c 通所介護	20人
（ハ）快適な生活環境の提供	
a 建物内の清潔保持	毎日
b 一人一人の価値観や生活習慣に配慮した支援	通年
c プライバシーに配慮した支援	〃
d 同室者との相性を配慮した部屋割り	随時見直し
e 敷地内の環境美化の推進	月1回
f 建物の老朽化による修繕等の速やかな対応	通年

内 容	実施時期・回数等
<b>【重】</b>	
ハ 利用者の多様化に応じた支援の提供	
(イ) 精神障害や知的障害, 認知症, 虐待等の利用者への専門的な支援	
a 認知症予防対策の強化	
(a) 学習療法の推進	
・認知症利用者を対象とした学習療法に取組認知の維持・改善	年200回
・学習療法士の資格取得を推進	通年
(b) 音楽療法の推進 (和風園と合同)	月2回
b 趣味活動の積極的な支援	
(a) 民謡, 生花, 茶道, 手芸, 農園芸, 料理教室等の活動の実施	通年
(b) 「偕楽園シアター」と称した映画の上映会の実施	毎週日曜日
c 利用者支援に係るテーマへの職員研修への参加 (内・外部)	随時
(a) 排泄ケアに関する研修	5月, 8人
(b) 介護技術 (トランスファー) のに関する研修	6月, 8人
(c) 認知症についての研修	6月, 5人
(d) ポジショニング・体位交換についての研修	7月, 8人
(e) 食中毒・熱中症に関する研修	8月, 9人
(f) 嚥下・誤嚥に関する研修	10月, 5人
(g) 高齢者医療のポイントと緊急時の対応について	10月, 8人
(h) 高齢者権利擁護研修	11月, 1人
・高齢者虐待防止対応研修	年2回, 16人
(i) 精神障害に関する研修	1月, 8人
(j) 普通救命救急訓練	9月, 2人
(k) 倫理綱領の遵守及び具体的行動計画に基づく実践	通年
・職員会議での読み合わせ等による職員意識の定着	毎月
・虐待セルフチェックの実施と検証	年2回
・虐待防止委員会の開催	随時
(l) 身体拘束ガイドラインの基づく取組	通年
・身体拘束廃止ガイドラインの周知及び遵守	随時
・身体拘束廃止 (適正化) 委員会の開催	随時
・記録及びカンファレンスの実施	〃
・身体拘束廃止 (適正化) に関する職員研修の実施	年2回
(m) 研修受講者の伝達研修	随時
(ロ) 高齢者の心身の機能維持及び低下の予防	
a 朝のラジオ体操や園内活動等日中活動の実施	通年
b 介護予防レクリエーション (ドライブや個別外出等) の実施	週3回 (月・火・金)
(ハ) 利用者の地域生活移行に向けた取組	通年
a 地域の公民館調理室を借用し調理等の生活体験 (料理教室)	年4回
b おやつ作りや農園芸等の実施	年12回
c 通院, 選挙, 買物, 外食等在宅生活移行に向けた支援	随時
ニ 施設サービス評価	
(イ) 施設サービス評価の実施	
a 福祉サービス評価に伴う自己評価の実施	8月
b 評価結果による提供するサービスの見直しと質的向上	9月
c ホームページによる情報公開	2月
ホ 利用者自治会の積極的な支援	
(イ) 自治会役員会や全利用者の要望や意見を聴く場としての話合いの実施	月1回

内 容	実施時期・回数等
(ロ) 自治会の活動の支援	
a ホーム喫茶の運営	週 1 回
b 園の各種行事企画への参画	通年
へ 健康管理の強化	
(イ) 日常的な健康観察とバイタルチェックの実施	通年
(ロ) 定期健康診断の実施	年 2 回
(ハ) 協力病院との連携	6 医療機関
(ニ) 感染症対策マニュアルに基づくインフルエンザ等の予防徹底	通年
(ホ) 嘱託医や関係機関と連携の強化	〃
ト 満足の得られる食事の提供	
(イ) 利用者の嗜好調査や喫食状況調査の実施	年 2 回
(ロ) 選択食の実施など、嗜好に合わせた食事の提供	通年
(ハ) 利用者の状態に合わせたソフト食、極きざみ食、きざみ食等の制限食の提供	〃
(ニ) 感染症対策マニュアルの遵守による食中毒の防止と衛生管理の徹底	〃
チ 福祉QCサークル活動の推進による業務改善	〃

(2) 地域との交流，地域資源の活用，関係機関との連携

イ 近隣町内会との交流の推進	
(イ) 地元の町内会や老人クラブとの連携・交流	随時
a 役員との懇談会や各種町内会行事（夏祭り・敬老会等）への参加	
b 施設での各種イベント・事業などの情報を提供	
c 町内会，各種団体の会合等への施設利用の開放	
(ロ) 防災訓練における地元消防団・婦人防火クラブとの連携・協力	年 2 回
ロ 地域資源の活用による地域交流	
(イ) 地元の保育園，小・中学校との交流	随時
a 畑の開放（貸出や共同での作業）	
b 入学式，卒業式，運動会や交流会等への参加	
c 体験学習，職場体験の受入れ	
(ロ) 各種ボランティアの受入れ・交流	随時
a 市町村社会福祉協議会等との協働によるボランティアの受入れ	
b ホーム喫茶，かたりべ，環境整備等の実施	
(ハ) 銀行，理美容院，公民館などの地域施設の活用	随時

(3) 行事，家族との交流

イ 利用者との共同による行事等の企画，運営の実施	随時
(イ) 行事…長寿を祝う会，供養会（月 1 回），正月祝い，節分，花見，芋煮会	
(ロ) 外出…個別外出，買物バスの運行，日帰り旅行	
ロ 家族との交流・連携の推進	
(イ) 広報紙（かいらくライフ）の発行	6 月，11 月，2 月，年 3 回
(ロ) ホームページでの情報発信（行事・近況など）	随時更新

(4) 関係機関との連携

イ 市町村・市町村社会福祉協議会との連携の強化	随時
(イ) 市町村・市町村社会福祉協議会との情報交換	
(ロ) 各種行事，趣味活動でのボランティアの受入れ	
(ハ) 防災訓練等における消防署，地元消防団・婦人防火クラブとの連携	
ロ セーフティネット機能の発揮	随時

内 容	実施時期・回数等
(イ) 他の施設で受入れ困難な方の受入れ	随時
(ロ) 虐待や災害等の緊急的に利用を必要とする方の受入れ	〃
(ハ) 緊急時の生活困窮者の受け入れ	〃
(ニ) 災害時における要援護者の受入れ等の協力に関する協定に基づく支援 …大和町・大郷町・富谷市・石巻・黒川地区	〃
(ホ) 宮城県老人福祉施設協議会との災害時相互支援協定に基づく取組	随時
ハ 障害者就労施設等からの物品調達の推進	通年

(5) 情報公開，個人情報保護等の推進

イ 個人情報・特定個人情報保護規程に基づく適正な個人情報保護の推進	通年
ロ 情報公開規程に基づく適正・必要な措置と情報公開の推進	〃
ハ PCハードや外部記憶媒体を通しての個人情報の流出防止	〃
ニ マイナンバー管理の徹底	〃

(6) 苦情及びなんでも相談への対応

イ なんでも相談室（相談・苦情解決）規程に基づく対応の継続	
（イ）窓口担当者の選任・掲示と広報誌及び啓発パンフレット等による周知	4月
（ロ）なんでも相談・利用者の声，「意見箱」，パンフレットの設置	通年
（ハ）なんでも相談・苦情解決等第三者委員の委嘱	4月
（ニ）適切・迅速な対応と顧問弁護士・権利擁護機関等との連携による解決	通年
（ホ）援護の実施者等の関係機関との情報共有と解決に向けた取組の実施	随時
（ヘ）ホームページによる公表	〃
ロ ハラスメント防止規程に基づく対応の徹底	通年
（イ）全職員の意識啓発ための研修会の開催と外部研修会への参加	随時
（ロ）ハラスメント防止に関するポスターの掲示	4月
ハ 「公益通報者保護に関する規程」に基づく通報者保護の実施	通年
ニ 「職員提案，相談・苦情受付実施規程」に基づく職場の活性化の強化	〃

(7) リスクマネジメントの推進

イ 利用者の事故防止の徹底	通年
（イ）事故防止対策	
a ヒヤリ・ハット体験，事故報告に基づく要因分析と改善策の立案と実践	四半期ごと
b 転倒による骨折等事故の防止	
(a) 個別支援計画に基づく支援	通年
(b) 施設内の危険箇所安全チェックの実施	毎月
c 誤薬防止（与薬マニュアルの遵守）の徹底	通年
d リスク管理委員会の開催	随時
（ロ）事故発生時の対応	
a 利用者健康状態急変時の迅速な対応	随時
b SHELモデル分析による事故の検証とケアプランへの反映	〃
c 救命救急講習会への参加（再掲）	年1回
（ハ）感染症予防対策の徹底	
a 感染症対策委員会の開催	4回，随時
b 手洗い・うがい，手指消毒，マスクの着用，三密回避の徹底	〃
c 予防接種の実施	11月
d 感染症マニュアルの見直し	4月，随時

内 容	実施時期・回数等
e 感染症予防備品の整備	随時
f 来訪者等の入室の制限	〃
g 法人内施設における発生時の応援・受授体制の構築	4月, 随時
h 発生時の対応シミュレーションの実施(職員配置・ゾーニング等)	2回
i 感染症対策に係る研修の実施(PPE着脱研修等)	年3回
j 各種感染症予防対策の実施	通年
ロ 危機管理計画・緊急時行動計画に基づく対応	
(イ) 防災体制の整備	
a ライフライン等の点検の実施	毎月
b 非常食, 飲料水の確保	6日間分
c 施設内外の危険箇所及び避難路等の自主点検の実施	毎月
d 防災意識の高揚	随時
(a) 防災器具, 設備の点検	毎月
(b) 防災器具及び非常放送操作訓練の実施	年2回
e 各種防災訓練の実施	毎月
f 地域と連携したセンター内総合防災訓練の実施	
(a) 6. 1 2 総合防災訓練(地震・火災想定)	6月
(b) 秋の総合防災訓練	10月
(c) 3. 1 1 防災訓練	3月
g 緊急時を想定しての通信訓練の実施	6月, 11月
h 安否確認システムの訓練実施	年1回
(ロ) 災害発生時における要援護者の受入れ等協定書に基づく相互協力(再掲)	
a 大和町・大郷町・富谷市との緊急受入れ協定	
b 県老協との災害時相互支援協定に基づく石巻・黒川地区の支援	
(ハ) 事業継続マネジメント(BCM)の推進	災害時等
(ニ) 危機管理ワーキンググループ会議への参加	随時
(ホ) 公用車の始業前安全点検の徹底と適正な整備管理	
a ブレーキランプ等の運行前点検の実施	通年
b 定期点検整備の実施	半年毎
(ヘ) 公用車運行時の交通安全の徹底	
a 法定速度及び交通ルールの遵守	通年
・交通事故防止に関する研修への参加	年1回
b 乗車全員のシートベルト着用の徹底	通年
・春・秋の交通安全運動(全席シートベルト着用の徹底)の実施	4月, 9月, 年2回
c 利用者送迎等運行ルート上の危険箇所点検	四半期毎
ハ 防犯に係る安全対策	
(イ) 防犯設備の整備・点検, 夜間等における施錠確認	通年
(ロ) 職員間の連携体制の構築及び防犯研修・勉強会等の実施	年1回
(ハ) 関係機関や地域住民等多様な関係者との協力・連携体制の強化	通年
ニ 職員の健康管理	
(イ) 健康診断の実施	年2回
(ロ) 産業医による職員の健康相談	年1回
(ハ) 安全衛生委員会の実施	毎月
(ニ) ストレスチェックの実施	年1回
ホ 建築基準法(第12条第1項, 第3項)に基づく調査・点検	
(イ) 建築物における定期調査	3年毎
(ロ) 昇降機の定期検査	月1回

(8) 人材育成及び研修計画

内 容	実施時期・回数等
<p>イ 研修計画に基づく研修の実施</p> <p>(イ) 人材育成基本方針に基づく研修</p> <p>a 法人主催研修</p> <p>(a) 職員階層別研修への参加（新任、ワーカー、主査、係長研修等）</p> <p>(b) 職種別研修への参加（看護師、栄養士研修等）</p> <p>(c) 選択研修への参加 (リスクマネジメント、コミュニケーション研修)</p> <p>b 施設内研修</p> <p>(a) O J T 研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新任、転入職員及び臨時職員等研修</li> <li>・ O J T 担当職員による介護・支援技術向上のための研修</li> <li>・ 新任職員の育成シートによる評価とフォローアップ</li> <li>・ 個人研修計画・評価シートによる評価とフォローアップ</li> <li>・ 現職員の支援技術指導</li> </ul> <p>(b) O F F - J T 研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新任職員・及び転任職員施設内研修</li> <li>・ サービス管理責任者研修</li> <li>・ 安全運転管理者研修</li> <li>・ 防火管理者研修</li> </ul> <p>(c) テーマ別研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虐待防止等研修</li> <li>・ 福祉車両操作講習会</li> <li>・ 事故防止研修等のリスク関係研修の実施</li> <li>・ 利用者支援に係る園内研修の実施（再掲）</li> <li>・ 伝達研修</li> </ul> <p>(ロ) 職員の自己啓発</p> <p>a 資格取得の奨励</p> <p>ロ 外部研修</p> <p>(イ) 宮城県及び老人福祉施設協議会等が実施する専門研修への参加</p> <p>a 福祉QCサークル活動に関する研修</p> <p>b 高齢者権利擁護に関する研修（再掲載）</p> <p>c 精神障害に関する研修（再掲載）</p> <p>d 災害派遣福祉チーム基礎研修・スキルアップ研修</p> <p>(ロ) 民間組織主催による研修への参加</p> <p>a 認知症に関する研修（再掲載）</p> <p>ハ 福祉人材の育成</p> <p>(イ) 教員免許特例法による介護等体験実習研修生の受入れ</p> <p>(ロ) 各種研修会等への講師の派遣</p> <p>ニ 福祉QCサークル活動の推進</p> <p>福祉QCサークル活動に関する研修</p>	<p>計画に基づく</p> <p>随時</p> <p>随時</p> <p>随時</p> <p>採用時・転入時</p> <p>採用後1ヶ月・随時</p> <p>5月,9月,2月,年3回</p> <p>年2回</p> <p>随時</p> <p>採用時・転入時</p> <p>随時</p> <p>1人</p> <p>1人</p> <p>1人</p> <p>年2回, 10人</p> <p>11人</p> <p>8人</p> <p>10人</p> <p>30人</p> <p>随時</p> <p>通年</p> <p>7月, 1人</p> <p>11月, 1人</p> <p>1月, 8人</p> <p>1人</p> <p>6月, 5人</p> <p>随時</p> <p>随時</p> <p>1サークル</p> <p>1人</p>
<p>(9) 施設設備の維持管理</p>	
<p>イ 利用者の生活環境確保</p> <p>(イ) 施設内の日常清掃・定期清掃業務</p> <p>a 利用者及び職員共同での施設内清掃・ゴミの収集の実施</p> <p>b 環境美化の日の設定による施設内外の清掃</p>	<p>毎日</p> <p>随時</p>

内 容	実施時期・回数等
(ロ) 施設内の警備業務	毎月
a 施設内の火災、盗難、ゴミ不法投棄及び事故防止のための巡回点検	〃
b 夜間の防犯センサーによる不審者対応	
(ハ) 施設内の緑地及び樹木の剪定、防除の管理業務	随時
a 利用者と職員での施設内緑地除草の実施（除草・草刈等）	〃
b 施設西側の畑周辺の環境整備	〃
(ニ) 自主運営施設あり方検討委員会への参加とワーキンググループへの参画	
ロ 業務委託	
(イ) センター組織の和風園との業務委託の一本化の検討	
(ロ) 業務委託	通年
a 調理業務	年2回
b 消防設備保守点検業務	年1回
c 真空式温水ヒーター保守点検業務	年2回
d 園内清掃管理業務	年1回
e A重油地下タンク清掃業務	年6回
f 殺鼠殺虫業務	年4回
g 非常通報装置保守点検業務	隔月
h 自家用電気工作物保守点検業務	年2回
i ボイラーばい煙濃度測定業務	年1回
j 給水設備受水槽保守点検業務	通年
k 一般廃棄物処理業務	月1回
l エレベーター・ダムウェーター保守点検業務	年4回
m 自動ドア保守点検業務	年1回
n 業務用全自動洗濯機・乾燥機の保守点検業務	通年
o 洗濯清掃業務	年4回
p フロン排出抑制法簡易点検業務	

(10) 環境配慮の推進

イ 廃棄物の減量化とリサイクルの推進（ごみの分別）	通年
ロ 会議資料のワンペーパー化，両面刷り，資料の共有化	〃
ハ 照明，OA機器等の省エネ努力による電力使用量の縮減	〃
ニ 環境美化の日設定による定期的な施設内外の美化活動	毎月

(11) 安定的な経営

<b>【重】</b>	
イ 安定経営のための利用率の向上	
(イ) 事業管理	
a 適正な人員管理	
(a) ホームページや措置費請求時に施設の空部屋の情報提供	毎月
(b) 市町村及び地域包括支援センター等への利用促進の働きかけ	年6回
(c) 自立相談支援センターへの利用促進の働きかけ	年4回
b 地域支援センターなごみな，和風園との連携	随時
c 生活管理指導短期宿泊事業の利用促進	延べ 730人
(ロ) 適切な財務管理	通年
(ハ) 長期の収支計画策定と効率的な事業の実施	4月，通年
ロ センター会議及び偕楽園職員会議の開催	

内 容	実施時期・回数等
(イ) センター会議 (和風園・偕楽園・なごみな) a 施設・事業所間の進捗状況等の確認と対策の検討 b センター全体での調整事項等の協議検討	月 1 回
(ロ) 偕楽園職員全体会議 a 事業の進捗状況の確認 b 支援会議の報告、翌月の行事確認等 c 職員による所内研修の実施 (伝達研修、権利擁護等)	月 1 回
(ハ) 偕楽園支援課会議	月 1 回
ハ 法人各種会議への参加 (イ) 施設長会議 (ロ) 福祉QCサークル活動推進委員会 (ハ) サービス向上ワーキング部会 (ニ) 研修推進員会 (ホ) 情報・広報委員会	

(12) 地域福祉推進計画に基づいた取組

イ 地域住民に対する「施設・事業所の機能」の提供・活用 (イ) ボランティア団体への活動場所として施設・事業所を提供 (再掲) a ホーム喫茶, かたりべ (近隣の個人ボランティア) (a) ホーム喫茶 (毎週木曜日) (b) かたりべ (かぐや姫) (c) 歌楽器演奏 (アネモネ) b 環境整備等 (大和町婦人ボランティア) ・園内清掃, 草取り, 窓ふき, 車椅子清掃, 繕い物等	(再掲)
(ロ) 施設・事業所を活用し地域交流 (再掲) a 地元の保育園, 小・中学校との交流 b 畑の開放 (貸出や共同での作業) c 入学式, 卒業式, 運動会や交流会等への参加	(再掲)
(ハ) 体験学習, 職場体験の受入れ (再掲)	(再掲)
(ニ) 災害時における被災地域住民の一時避難所としての緊急受入れ (再掲)	〃
(ホ) 災害・感染症等発生時における他法人等への職員派遣 a 災害・感染症発生時における職員派遣体制の整備 b 各種協定及び関係機関等からの派遣要請に基づく職員派遣 c 災害福祉広域支援ネットワーク協議会チーム員の派遣	4月, 随時 随時 〃
ロ 関係機関との連携 (再掲) (イ) 宮城県老人福祉施設協議会との連携 (ロ) 市町村社会福祉協議会との連携による地域福祉の推進	随時 〃